

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	舞踊	種目	バレエ
----	----	----	-----

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	採択された企画の内いずれかの企画のみ対応可能
--------------------	------------------------

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっばんしゃだんほうじんほうむらともいばれえだん		団体ウェブサイトURL	
	一般社団法人法村友井バレエ団		https://www.homuratomoi.com	
代表者職・氏名	代表理事 法村牧			
制作団体所在地	〒	543-0052	最寄り駅(バス停)	JR寺田町
	大阪府大阪市天王寺区大道2-5-9			
電話番号	06-6771-6475			
ふりがな 公演団体名	ほうむらともいばれえだん		団体ウェブサイトURL	
	法村友井バレエ団		https://www.homuratomoi.com	
代表者職・氏名	代表理事 法村牧			
公演団体所在地	〒	543-0052	最寄り駅(バス停)	JR寺田町
	大阪府大阪市天王寺区大道2-5-9			
制作団体 設立年月	1937年4月			
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等	
	代表理事:法村牧(牧緒)／理事:法村(宮本)東代子、法村圭緒、法村珠里、法村(堤本)麻起子／総務部:森川起美子／会計監査:東耕 功(税理士)		団員構成:団員36名 加入の条件:オーディション又は法村友井バレエ団員の推薦による	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	法村圭緒	
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	法村牧	
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	homuratomoballet@outlook.jp			

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>昭和12年設立、プロのクラシックバレエ団体として大阪・東京に本拠を置く。1983年、法村牧緒が団長に就任。バレエ団・バレエ学校にロシア・ワガノワメソッドを定着させ、優秀な指導陣を擁し、多くの舞踊手を輩出し、日本有数のバレエ団に発展。バレエ団は、自主公演は勿論のこと、(社)日本バレエ協会公演、会館主催公演、親子劇場等の舞台に出演し、又、海外のスター級アーティストをゲストとして日本に招き、国際交流にも務めている。平成27年3月、組織を一般社団法人へ変更(バレエ団の受賞歴)昭和29年度大阪芸術賞昭和34年度芸術祭奨励賞(文化庁)、芸術祭奨励賞(大阪)昭和35年度芸術祭奨励賞(文化庁)、昭和36年度府民劇場奨励賞、昭和44年度府民劇場奨励賞、昭和45年度大阪文化祭賞、昭和50年度大阪文化祭賞、昭和62年度府民劇場賞、大阪文化祭賞昭和63年度府知事賞、平成2年度芸術祭賞(文化庁)「エスメラルダ」、平成15年度芸術祭大賞(文化庁)「バイデルカ」、平成16年度大阪文化祭奨励賞「ロメオとジュリエット」、平成18年度芸術祭大賞(文化庁)「アンナ・カレーニナ」</p>		
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>淀の水高校(1998年)、追手門学院小学校(1998年)、狭山高校(1998年)、伊丹高校(1998年)、佐野高校(2000年)、樟蔭高校(1998年、2001年)、上宮太子高校(2003年)、平成19年度～21年度「本物の舞台芸術体験事業」(2007年、2008年、2009年)、平成22年度、23年度「子どものための優れた舞台芸術体験事業」、平成24年度「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」、平成26年度、27年度、28年度、平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」、令和2年度、令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業」、令和4年度「文化芸術による子供育成推進事業」(巡回公演)、令和5年度「文化芸術による子供育成推進事業」(巡回公演)</p>		
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>平成19年度「本物の舞台芸術体験」香川県立豊学校／「子どものための優れた舞台芸術体験事業」平成22年度・京都市立呉竹総合支援学校／平成24年度・鹿児島県立鹿児島豊学校／平成26年度「文化芸術による子供の育成事業」大阪市立光陽特別支援学校／令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業」香川県立豊学校</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/iM3L2mJxYhU</p>	
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p></p>
		<p>PW:</p>	<p></p>

別添	なし
----	----

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 法村友井バレエ団】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	バレエを学んで体験「くるみ割り人形～クララの夢～」スペシャル公演			
企画のねらい	本企画を通して、学生の皆様に舞台芸能文化のすばらしさを知って頂き、体験をしていただくことで豊かな心や想像力を養う。また踊りのみならず、衣裳のデザインや舞台製作現場など、あらゆる角度から見ることによって、職業に対する興味を深めてほしいという狙いがある。			
演目概要・演目選択理由	<p>●第一部では、「バレエを学んで体験しよう」と題して、バレエの基本にあたるレッスンやマイムを紹介し生徒さんにも体験して頂きます。そして、バレエの見所が分かりやすい小品(4作予定)を紹介し、そこでは生徒さんを交えワークショップで学んだ小品の実演も行います。</p> <p>●第二部では、「くるみ割り人形」スペシャル(クララの夢)公演と題して、チャイコフスキーの代表的なバレエ作品「くるみ割り人形」の公演を行います。プロバレエ団の公演を凝縮してお届けします。バレエのレッスンには多くのダンス(舞踊)の基礎となる要素が詰まっています。</p>			
児童・生徒の参加又は体験の形態	<p>第一部で行う「バレエを学んで体験しよう」では、柔軟性や集中力が重要視されるバレエのレッスンを紹介することで基礎レッスンの土プログラム第一部、「バレエを学んで体験しよう」の中で、ワークショップを受講されたメンバーの中から代表者(マイムで男女各最大8名ほど、小品で男女各4名予定)の生徒に、バレエのマイム表現、小品演目の中で、共演参加していただきます。参加者には、舞台メイクを施し舞台衣裳を着用して頂き舞台表現をリアルに体験して発表していただきます。</p> <p>なお、児童・生徒の共演、参加は第一部だけに集約し、第二部は児童・生徒全員がプロ公演の作品鑑賞に集中していただきます。</p>			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	16人～24人	
		鑑賞人数目安	概ね300人(学校の規模により変化)	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>第一部 ●「バレエを学んで体験しよう」(約45分) バレエレッスン、バレエ小品紹介、プロのダンサーと踊る生徒参加作品、作品のマイムを学ぶ</p> <p>第二部 ●「くるみ割り人形～クララの夢～」スペシャル公演(約45分) 作曲:チャイコフスキー、原振付:L.イワノフ/改訂振付:法村圭緒</p> <p style="text-align: right;">公演時間 90 分</p>			
出演者	(法村友井バレエ団・団員)辰巳紗代、佐野裕子、坂田麻由美、中内綾美、井上麻緒、神木遥、安田有利佳、南野衣緒梨、椿原せいか、春木友里沙、馬野瑞季、野舞翔、佐野光里、高橋由芽、安芸(荻野)あゆ子、村上萌実、井口雅之、山田昌弘(大野晃弘)、法村圭緒、今村泰典、奥田慎也、今井大輔、池田健人、大西慎哉、竹中朋宏(他研究生)牧野カレン、大前結希歩、櫻井優奈、安達菜実希、荒木麻榛(以上より29名、順不同・日程により調整)			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	芸術監督・演出・振付:法村圭緒(一般社団法人法村友井バレエ団理事) 監修:法村牧緒(法村牧・一般社団法人法村友井バレエ団代表理事) 舞台監督:田中一浩(有限会社ウォーターマインド)			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 29 名	運搬	積載量: 3 t	
	スタッフ: 21 名		車長: 4.7 m	
	合計: 50 名		台数: 2 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	8:00	8時～10時	13時45分～15時30分	15分	15時40分～17時15分	17時30分

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月
	6日	10日	0日	0日
	10月	11月	12月	1月
	0日	15日	10日	10日
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計



搬入トラック (写真は4 t ロング)



電源車、体育館に横付け駐車



搬入機材を整理してから仕込み



客席後方に設置する照明やぐら



生徒参加作品の様子 (小学生)



生徒参加作品の様子 (中学生)

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。



客席の様子 (コロナ前) 基本的には、演技の足元が見やすくなるようにフロアに座って観賞して頂きます。より見やすくする工夫として後方に数列ほどを椅子にする場合もあります。



第二部の舞台装置 体育館の舞台は緞帳を閉めてその中はバックヤード (早替えのスペース) として使用します。演技舞台はフロア面にバレエマットを敷きます。両サイドは体育館の幅まで袖パネルを立てます。(おおよそフロアの1/3ぐらいの利用になります/舞台サイズ: 奥行き11m、幅17m以上 (内間口12m))

著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 法村友井バレエ団】

ワークショップのねらい	バレエ公演を前提にワークショップを開催することにより、バレエの成り立ちや歴史、技法や名称など、より専門的な知識を深めてもらうと同時に、一人でも多くの生徒に舞台文化に対する興味を持っていただくことを目的とする。		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	最大100名
ワークショップ実施形態及び内容	<p>解説指導者1名と指導アシスタント5名の6名編成で、会場には、約10m×5mのスペースにバレエマットを敷き、レッスンの為のバーを設置します。ワークショップでの参加者は合計80名ぐらいまでとし(多すぎると集中力や指導管理がおろそかになります)です。その参加者の中から公演の時に参加(出演)して頂く人数は24名程(レッスン・マイム演技男女各8名、小品出演者男女各4名)を選んで頂く事を前提として実施します。</p> <p>ワークショップ会場としては体育館等のダンスが出来るスペースで、運動が出来る服装を着用。公演への参加が前提で、集中力の問題から小学3年生以上を対象とします。</p> <p>前半の時間は、バレエ作品の鑑賞のポイントや、バレエの基本姿勢や基本的なマイムなどを体験しながら実施します。後半は、公演で参加していただく作品の練習です。(参加学年や技量により演目を調整いたします) グループに分かれてそれぞれに指導者が振付を指導していきます。最後に質問コーナーなどを設けて親睦をはかります。</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	生徒の皆さんには、バレエのレッスンバーの代わりに背もたれのある椅子などを利用して、バーレッスンの体験や回転の技(ピルエット)の体験をしてもらいます。また、会場にバレエの衣裳やトウシューズ等を展示して興味を深めて頂きます。		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名

法村友井バレエ団

】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢 バレエは言葉を使わない総合舞台芸術です。特にクラシックバレエは、踊りの技、美しさ、物語と表現力、群舞アンサンブルなどの身体表現に加え、舞台装置、照明、音楽など、高い技術の結集が必要な舞台芸術ですが、本事業におきましては生徒・児童の方が参加・体験して一緒に舞台を作ることを意識した作品・プログラムを選びました。 公演に参加していただく中で、技術習得の重要性や舞台芸術への興味を持って頂きたいと考えています。その為に公演で参加頂く生徒さんにも舞台メイクをして舞台衣裳を着て頂き、そして演技をする。舞台上で表現する心構えも体験していただき、将来への夢や他の人との協調性を重んじていただけたと考えています。 また、芸術鑑賞作品としてバレエ芸術の重要性や教育現場であります学校での公演を考慮し、低学年から高学年まで楽しめる作品を抜粋し、プロバレエ団の公演として恥じない表現、演出でお届けすることにより、芸術鑑賞の重要性や舞台芸術の普及に努めたいと考えています。多くの子供たちは「見たこともない、こんなに華やかで非日常的な舞台芸術があるのだ」と驚きます。初めてのバレエ芸術との幸せな出会いの機会とし、バレエ学習、将来のバレエ公演鑑賞へのきっかけとなることで日本の舞台芸術振興の一助になればと考えます。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫 本物のバレエの技を表現するには、年数をかけて基本と応用の反復練習で身につけなくてはなりません。そんな中で、親しみがあって舞台の体験をしていただきやすい作品を選びました。作品に関しては、巡回公演で上演を重ねていく中で少しずつ改良を加え、より観やすくなるよう工夫しております。生徒さんの集中力の観点からワークショップにおいて参加学年を小学3年生以上として、限られた時間でスムーズに指導ができるように、ワークショップ指導者人数を6名で行います。 また、振付の復習のためのDVDを用意し、ワークショップ後もそれぞれが練習、確認ができるようにします。 基本的にはバレエは静かに観ていただくものですが、ワークショップでは解説の他に質問時間を設け、生徒の皆さんにも声を上げていただくことで、集中力を高め、参加意識を持っていただくよう工夫をしています。 公演の時は学校の体育館が劇場のような空間になるように照明演出をほどこします。また限られた時間で容量の大きな舞台電源を安全設営にスムーズに準備ができるように、照明用の電源は専用の電源車を使用します。</p> <p>第二部の公演はバレエ団員のみで実施しますので、芸術鑑賞としての位置づけをしっかりと踏まえた公演を実施し楽しんで頂きます。</p> <p>事務制作体制をこれまでの個人担当では無く学校公演チーム対応として複数メンバーでの事務制作対応することにしました。</p>
--	---